

各地域でまちづくり

地域懇談会 開催



6月10日(月)から7月15日(月)にかけて町内16カ所で「まちづくり地域懇談会」を開催しました。

この懇談会は、住民の皆さんと行政が協力して住み良いまちづくりを行うことを目的に開催したもので、各会場とも多くの町民の皆さんが参加され、「プラスチック製容器包装の分別収集」、「町の情報化施策」、「市町村合併問題」について、町の説明に対して、皆さんからの質問や疑問にお答えする形式で行いました。

特に市町村合併問題については、今なぜ合併が叫ばれているのかを、社会背景および町の財政状況や近隣市町村とのサービス、公共料金の違いを交えて説明し、多くのご意見、ご質問をいただきました。会場での主な質問は次のとおりでした。

合併問題について

羽島郡四町での合併なのか、岐阜市や羽島市との合併なのか。

〈回答〉 羽島郡の町長会という組織の中で同じ歩調を進めていますが、羽島郡の合併を前提としている訳ではありません。こうした場で町民の皆さんの意見を聞いた後に議会と合併の是非や枠組みを決めてゆくもので、今回の懇談会が最初で最後ではなく、今後も段階ごとに対応して皆さんの意見を聞く機会を設ける予定です。

資料には合併後のビジョンが示されていないが、合併問題を考える場合、ビジョンを示すことが一番大切ではないか。

〈回答〉 今回は合併問題を皆さんと考える第一歩です。こういった集まりなどで皆さんと合併に対する合意形成ができ、合併協議会が設置されれば、市町村建設計画などを関係自治体間で協議し策定することになるので、その時点でビジョンなどを皆さんにお示しし、ご意見を伺います。

岐阜市長が笠松町長を訪問したと新聞に掲載されたが、ど